

授業科目 身体障害作業療法評価学実習

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	作業
泉 良 太		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 身体障害領域における作業療法評価の基本的な技術を習得する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1 身体障害における作業療法評価の意義について説明できる。 2 一般情報収集の意義および面接、観察の要点を説明し、実施できる。 3 体表面から触診可能な主要組織を触診できる。 4 評価基準に基づき各評価を適切に実施することができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	身体障害における作業療法評価総論、一般情報収集の意義、面接、観察手法			1～2	演習、担当：泉 良太
2	脳神経検査方法と結果解釈			3～5	演習、担当：泉 良太
3	脳神経検査方法と結果解釈			3～5	演習、担当：泉 良太
4	感覚検査方法と結果解釈			3～5	演習、担当：泉 良太
5	感覚検査方法と結果解釈			3～5	演習、担当：泉 良太
6	関節可動域検査方法と結果解釈（上肢）			3～5	演習、担当：泉 良太
7	関節可動域検査方法と結果解釈（手指・体幹）			3～5	演習、担当：泉 良太
8	関節可動域検査方法と結果解釈（下肢）			3～5	演習、担当：泉 良太
9	表面解剖・触診・筋力検査方法と結果解釈（上肢）			3～5	演習、担当：泉 良太
10	表面解剖・触診・筋力検査方法と結果解釈（上肢）			3～5	演習、担当：泉 良太
11	表面解剖・触診・筋力検査方法と結果解釈（手指）			3～5	演習、担当：泉 良太
12	表面解剖・触診・筋力検査方法と結果解釈（体幹・下肢）			3～5	演習、担当：泉 良太
13	表面解剖・触診・筋力検査方法と結果解釈（体幹・下肢）			3～5	演習、担当：泉 良太
14	反射検査方法と結果解釈			3～5	演習、担当：泉 良太
15	まとめ			1～5	演習、担当：泉 良太
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		新・徒手筋力検査法	Helen J. Hislop 他	協同医書出版社	2008・7,500円
		ベッドサイドの神経の診方	田崎義昭 他	南山堂	2004・7,200円
参考書		神経局在診断 分担 解剖学 1	Peter Duus 森 於菟 他	文光堂 金原出版	1999・9,000円 1982・9,300円
		その他の資料		プリント	
【評価方法】 出席 実技試験 期末試験		【履修上の留意点】 受講にあたり、骨・筋・神経系を中心とした解剖生理学的知識が要求される。 Tシャツ・短パンの上にジャージ等を着用して授業に参加すること。			